

レジュメ : A. A. Shelton, “The Aztec Theatre State and the Dramatization of War” (アステカの劇場国家と戦争のドラマ化) , *War and Games* (2002)

2014.11.14 蔵原大

● 1. 概要

- 中央アメリカのアステカ帝国 (15 世紀初頭～1621 年) における統治システムと、そこに登場するゲームや (儀式化された) 戦争との関係を分析。
- アステカの神々 (アステカ帝国を正当化するイデオロギー) に捧げられる人間の生贄と、生贄を捧げるルールとしてのアステカ神話 (アステカ帝国の世界観) との相互依存がおりなすゲーム的「劇場国家」 (恐怖による支配の演出)。
- アステカ帝国は人類史の例外ではない。近現代国民国家との劇場国家的相似。支配の道具であったはずの宗教と戦争にとらわれてしまったアステカ帝国の袋小路。アステカ帝国と生贄についての二通りの解釈。政策が主か、宗教が主なのか。

● 2. 構成

- ①. 球技に関する歴史的、民俗誌的史料
- ②. 劇場国家としてのアステカ帝国の政策
- ③. 「盾の歌」 (the Song of shields)
- ④. ウラマリズトリィ (Ullamaliztli) = 死の劇場
- ⑤. 参考文献
- ⑥. 討論会

● 3. 本論で述べられているアステカ帝国の「劇場国家」を図式化すると……

